

## 市内事業者を守るためあらゆる支援策を

### 第2次交付金・不要不急の予算切り替え・財調の財源を活用し

井之川博幸議員は、国、県、市の対策や給付金制度などで、事業者支援をおこなっているが、事業者によってはまだまだ十分ではない状況があることを示し、市は、国からの第2次地方創生臨時交付金(総額2兆円)はじめ、市の20年度予算の中で不要不急の予算の組み替え、財政調整基金の取り崩しなどで財源をねん出し、新しい対策やすでにある対策のバージョンアップなどの取り組む必要があることを市長に訴えました。

市長は、「今後も必要に応じて、対策に取り組んでいく」と答えました。



井之川博幸市議

### この機をとらえ移住対策の強化を



井之川議員は、感染防止対策として「テレワーク」が拡大・定着することによる、田舎暮らし要望に対応する「転入・移住」の促進施策を強化することを求めました。市はもともとこの事業に取り組んでいます。特に今回は、大都会での「密」な状況から脱出したいという人たちが増えているという情報が多くあり、この機会をとらえて、本市の人口増に結び付けるこれらの施策の強化に取り組むよう強く求めました。

市長は、「担当部長等にすでに指示を出している」と答えました。

### 教育現場の厳しい状況に対応できる教員増を

つづいて井之川議員は、教育現場は子どもたちや教職員にとって前代未聞の状況であり、特に教員は、子どもたちを徹底して守らなければならない、肉体的にも精神的にも相当厳しい状況におかれることが予想されます。子どもたちに適切な指導を行えるよう、一人一人の負担をできるだけ軽減するために、教員を増やすことを教育長に求めました。

教育長は、「文科省から教員の加配、学習指導員の追加配置などをすると連絡が来ているので、各学校等の状況等をふまえて対応していきたい」と答えました。

## 市議がコロナ対策のため報酬を10%カット

沼田市議会は、コロナ対策の財源に補てんするために、議員報酬を7月から来年3月まで10%カットすることを6月議会において、全会一致で可決しました。

行政調査なども移動自粛でできないため、中止することを含め、845万9千円が不要になりますが、今年度の予算から削り、新型コロナ対策の予算に加えるという補正予算を組まなければ、実際には活用できません。その補正は9月議会に予定されています。

## 6月議会で決められた新型コロナ対策施策

### ◆2月以降新型コロナ対策で2万円以上支出している事業者を対象

新しい生活様式に対応した取り組みで、2月以降2万円以上の支出をした事業者を対象に、5万円まで給付します。  
お問合せ先:経済部産業振興課産業振興係へ



#### 取り組み例

通販サイトの開設、オンラインシステム等の整備、ソーシャルディスタンスに対応したレイアウトの整備、消毒用アルコールや非接触型体温計等の購入、シールド、アクリル板等の設置、テイクアウト、デリバリー、移動販売等への新たな対応など

### ◆宿泊事業者緊急支援金

旅館、ホテルまたは簡易宿泊、住宅宿泊の営業許可を受けた事業者が対象。収容人数150人以上50万円から簡易宿泊営業・住宅宿泊事業5万円まで4段階で支援。

お問い合わせ先:経済部観光交流課観光推進係へ



2020年7月5日 No.977

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料